

発効後第1回RCEP閣僚会合共同メディア声明  
2022年9月17日 於：カンボジア・シェムリアップ

- 1 ASEAN構成国並びに豪州、中国、日本、韓国、ニュージーランドは、2022年9月17日、RCEP閣僚会合のためにシェムリアップに集まった。会合は、ジェリー・サンプアガ・インドネシア商業副大臣及びフィル・トワイフォード・ニュージーランド貿易輸出振興副大臣が共同議長を務めた。
- 2 会合は、2012年のRCEP交渉の立ち上げとほぼ同じくカンボジアがASEAN議長国となった2022年1月1日にRCEP協定が発効したことを歓迎した。この地域におけるRCEP協定の重要性に留意し、会合は全ての署名国による協定の批准を期待した。
- 3 会合は、RCEP合同委員会の作業の進捗に留意し、RCEP合同委員会によって監督される補助機関の設置を歓迎した。会合は、事務方に対して、RCEP協定の利用を拡大するため、また、この地域におけるビジネス環境の改善を実現するために、RCEP協定履行のモニタリング及び見直しをするために作業するよう促した。会合は、これに関連して、RCEP協定における義務と不整合ないかなる措置をとることも控えることの必要性を再確認した。会合は、RCEP合同委員会及びその補助機関の事務局の業務を行い、並びにこれらに対して技術的な支援を提供するため、締約国が合意する条件に基づくRCEP事務局の迅速な設置を期待した。
- 4 会合は、RCEPが地域の感染拡大後の回復の努力及びより強靭なサプライチェーンの創出に貢献しうるという考えを共有した。これに関連して、会合は、地域経済統合の深化のために、RCEP協定の一層の利用促進の必要性を強調した。